

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 年 月 日

事業所名 みらいデイサービス あすなるクラブ神埼

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	2	3	3	放デイのエリアも活用しながら、様々な活動に取り組んでいる。	定期的な環境整備を行い、常にスペースが確保できるようにしておく。
	2	職員の配置数は適切である	5	2	1	特性や状況によっては2人体制で配置している。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	3	3	2		現在必要としていないが、様々なケースに対応できるように段差や通路などのバリアフリー化を検討していく。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	4	4	0		事業所または職員それぞれのタスク表の作成から、進捗状況の見える化など、より効率的な業務遂行に努めていきたい。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	1	0	回収したアンケートのご意見は事業所で周知を行い、改善に繋げている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7	0	0		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	1	2		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	3	1	連絡協議会などを通して研修には積極的に参加し、事業所での周知を行っている。	
適切 な 支 援 の 提 供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6	1	0	連絡帳や電話での聞き取りから、ニーズの把握を行っている。	面談の機会を設け、より細かな情報共有を図っていきたい
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	2	1		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	1	1		他事業所や関係機関等との情報交換により、活動内容の視野を広げていきたい。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7	0	0	特性や利用頻度を考慮しながら、毎月の計画を行っている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5	2	0	限られた時間を有効に活用できるような計画を行っている。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7	0	0	子どもの特性に応じて行い作成している	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	2	0	毎日の朝礼・昼礼を欠かさず行い、円滑な支援やヒヤリハット防止に繋げている。	

	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	4	0		毎月のスケジュールとして、支援についての話し合いの時間を設けていきたい。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	0	0	細かな気づきは毎日ケース記録に記載し、支援の改善・見直しに繋げている。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7	0	0	定期的に保護者とも面談を行っている。	個別支援計画書に基づいた評価表を活用し、広い視点で支援にあたっていきたい。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	4	3	0		
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	0	0	児発管が参加し、情報は事業所で周知を行っている。	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	7	0	0	下校時間の確認や送迎の都合上遅れる際など、適時連絡をするようにしている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	1	2	0	該当する児童はいない	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5	2	0		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	4	1	0		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	1	3		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	1	6		保護者様からの要望があれば、交流の機会も検討する。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	1	5	1		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	1	0	連絡帳や電話を通して気づきや成長をお伝えしている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	1	3	3		情報があれば保護者にも共有していきたい

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	0	0	契約時に行っている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7	0	0		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	1	5		感染症の拡大により一時中断としていたが、保護者様からの声があれば再開の目処も立てていく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7	0	0	職員全体で共有し対応している	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7	0	0	各事業所での活動や様子を通信として保護者様に配布している。	
	35	個人情報に十分注意している	7	0	0	契約時に、顔写真公開の承諾の有無を書類にて記載していただいている。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7	0	0		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	1	5		
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6	1	0		見学时や契約時に細かな説明を行い、緊急時の迅速な対応に努める。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8	0	0	年間行事を元に毎年定期的な訓練を実施している。	通信での活動報告や、利用予定表での事前通知により、保護者様にも広く周知していきたい。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	2	0	連絡協会を通じた研修を毎年行っている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	1	1	3		現在対象児童の利用はないが、契約時に事前説明を徹底して行う。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	1	2	1	今のところ該当者はいない	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	1	0	事例がある都度職員間で共有している。	